

石狩市健康づくり計画（第2次）中間評価に 寄せられた意見等について

- 意見募集期間 令和2年3月9日から3月16日
- 健康づくり計画中間評価に対する意見・提案件数 2件
- 報告事項への意見やその他の質疑事項 9件

令和2年3月31日

保健福祉部保健推進課

1. 石狩市健康づくり中間評価に対する意見・提案内容

No.	意見・提案内容	回答
1	P 2 6 の「(8) 地域社会の健康づくり」の関連データについて、前回調査 (H 2 7) と中間評価 (R 1) の回答数及び回答割合が記載されていますが、回答割合が前回、中間で数値が違いますが、回答者数が同数になっています。 現状欄の記載はポイント数で評価していますので問題ないと思いますが、回答者数が誤記でしょうか？	ご指摘のとおり誤記です。 前回調査 (H 2 7) の正しい値は、「そう思う」1 6 5 人、「そうは思わない」1 4 0 人、「どちらともいえない」2 5 8 人です。(回答数 5 6 7 人)
2	前期の各種取り組みは、全体的な数値では健闘された印象を持ちましたが、詳細を見ますと将来を担う 2 0 ～ 5 0 歳代の栄養・食生活、喫煙、飲酒、運動等に後期の課題が大きいと思いました。 リーフレットの配布等、従来の活動に加え、学生・企業などには出前講義・講演等より直接的な働きかけで、対象の人々が自身で問題として捉える契機となる活動強化が増やせると良いと思います。	学校や企業から時間をいただいて講座を行う機会を得ることはなかなか難しいですが、出前講座で提供できる内容の周知を行い、利用を促進します。 また、健康づくりのイベントやその他のイベントにおいて、直接関わるができる機会を増やします。

2. 報告事項への意見やその他の質疑事項等

No.	その他（自由記載）	回答
1	・アンケートの回収数が421人と少数であり、計画推進の分析価基礎数値としてこの回答数で評価して良いものかという感があります。 ・こうしたアンケートの回答者は、「健康づくりの活動に関心がある」「行政施策に協力的である」などの住民の方が多いと思われ、無作為に抽出したアンケート対象者2,000人の数値よりは高評価に結びつく傾向があるように思います。 そのようなことを考慮した場合、調査内容の関心度に関係なく選定された地域の全数を対象とする国民栄養調査と比較評価するのも無理があるように感じます。また、前回策定時と中間評価のアンケート対象者は異なると思われますが、「1栄養食生活の1日2回以上食べている人の割合」などを見た場合、単なる調査対象者の差異であり、事業の推進（進捗）評価の積算基礎数値にするのは如何と感じます。 ・現状では、このような評価法しかないのかもしれませんが、この手法でABCのランク付けをする評価方法に違和感を感じてしまいます。 ・国民栄養調査のように、花川北〇条、花川南〇条、樽川〇条、厚田〇地区、浜益〇地区など予め対象地区を選定し、計画策定時、中間評価、最終評価まで同一対象地域（対象者）を迫りかける方法であれば、対象者の健康づくり対策の関心度に関わらず一定の評価基礎数値の確保ができ、対象者の健康づくりに対する活動や意識の変化とともに行政施策の推進状況の評価もできるのではないかと思います。 また、第3次、第4次計画ごとに対象地域を選定することで、評価基礎数値の確保とともに対象地域の住民意識や健康づくり活動の状態が把握でき、地域の特性に応じた効果的なアプローチも期待できるような思われます。 ※人、時間、予算などの課題もあるかと思われますが、評価以外の実態把握は国勢調査や栄養調査のように調査員を委嘱して把握する方法もあると思います。	・今回のアンケートでは、統計学上の母集団（20歳～69歳の住民の数）に対して95%の信頼区間で実態を把握するための必要回答数は、おおよそ380人です。回答数は、421人でしたので、調査に必要なサンプル数は得られたものと捉えております。しかし、回答率が低かったため、信頼区間が広くなり、有意差の検証は不十分となります。また、回答者が健康意識の高い人であるなどの偏りが生じて、全体の傾向と異なる可能性はあります。 アンケートの結果は、これらの調査の課題や限界を理解したうえで用いなくてはなりませんが、ご意見のとおり、現状では他の方法での評価が困難なことから、今回は、これを用いて評価しました。今回の一点だけを取った評価だけでなく、経過を追って見ていくことも必要なことだと思います。 今後においては、ご提案の方法も参考にしながら評価について検討してまいります。

No.	その他（自由記載）	回答
2	アンケートの回答数が少なく驚きました。アンケートの回答率は、このくらいのものでしょうか。	H 2 7 年 6 月に実施したアンケートの回収率は、2 7. 7 %でした。同年 1 1 月に実施したアンケートの回収率は 2 8. 4 %で、今回の回収率は 2 1. 1 %となっておりますが、今回のアンケートでは、統計学上の母集団（2 0 歳～69 歳の住民の数）に対して 9 5 %の信頼区間で実態を把握するための必要回答数は、おおよそ 3 8 0 人です。回答数は、4 2 1 人でしたので、調査に必要なサンプル数は得られたものと捉えております。 ＜参考～他の市で行ったアンケート回収率＞ ・男女共同参画に関するアンケート（令和元年度）… 2 2. 5 % ・市民意識に関するアンケート（平成 3 0 年度）… 3 2. 3 %
3	・当該報告とは若干趣旨が異なるかと思いますが、この度のコロナパンニックによる影響は多方面に渡り、特に健康面（メンタル含む）での悪影響が大いに考えられます。すでに「コロナウツ」という単語が出ているらしいですね。 今後の方向性や課題設定において、大幅な見直しなども必要になってくるかもしれないですね。早く収束してくれることを願うばかりです。 ・コロナウィルスで在宅が多くなり、学生（未成年）の運動不足、ゲーム依存、食生活の乱れなどが増えそうで心配です。又、保護者のストレスもありそうです。	散歩や家の中での運動、家族や友人との交流を図ることなどで健康を保つことができるよう周知していきます。 手洗や睡眠、バランスの取れた栄養など感染防止に関する周知啓発も行います。
4	資料 1 - 2 アンケート集計結果 問 8 の図説明の文章の数字 5 3. 1 5 3 3 0 (?)	標記ミスです。 誤) 5 3. 1 5 3 3 0 歳代女性 正) 3 0 歳代女性

5	コロナウィルスに関して、感染者の発表ですが石狩地方という表現がみられますが、市町村名で公表してもらいたいものです。かえって道民の不安が広がりそう。	公表の在り方については、様々な意見があると承知しているところですが、感染者の情報につきましては、北海道（江別保健所等）が把握することとなっており、感染者に関する情報の公表有無に関しましても、北海道において、本人からの同意を得られた情報のみ、市町村に情報提供を行った上で、公表することになっております。 市としましても北海道から情報提供があった場合には、速やかに公表する準備を整えているところですが、現時点において、こうした情報が北海道からは入っていない状況です。
6	・健康増進室の一般開放は、歓迎です。以前の利用時は、いつも混んでやりたいメニューができませんでした。昼休みがなくなったことで混雑が緩和されそうです。ただ、コロナの影響で予定通りオープンできるか気になります。フィットネス教室もぜひ参加したいです。また、トレーナーは常駐しているのですか？	・健康増進室の新規事業では、運動指導員が常駐して随時マシンの使い方や運動方法に関するアドバイスをいたします。また、フィットネス教室時には、専門の指導員による指導を1日3回程度行います。
7	市内の小児科医院が1医院になってしまうという状況の対応が多くの市民から望まれています。小児科医院を獲得するためにも、石狩市健康づくり推進協議会に石狩医師会の参加は必要不可欠と思います。よろしくお願い致します。	次年度は、石狩市健康づくり推進協議会委員の改選の年に当たることから、これまでに引き続き医師の参加を依頼します。
8	感染症（含食中毒） アレルギーなどに対する基礎知識の啓蒙なども計画されてはいかがでしょうか（ネット上でのデマが多いので）	新型コロナウイルスへの対応も含めて感染症の予防に関する啓発を実施します。アレルギーに対する啓発は、乳幼児健診や健康教育の機会を通じて行います。
9	規則正しい日常生活、食生活と運動習慣、治療の前に検診の習慣などよく理解できる内容となっていますね。 「地域全体での健康づくり」地域活動のテーマになりそうですね。	健康づくりが地域づくりに繋がるよう取り組みます。